



子どもと一緒に遊ぶおもちゃ学芸員の加藤さん

来館者に施設の楽しさ・魅力を伝えたい！

「ターントクルこども館ボランティアスタッフ」のみなさんへ

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。
今回は、ターントクルこども館のボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員・えほんとサポーター」の皆さんにお話を伺いました。

どんな活動をしているの？

ターントクルこども館のボランティアスタッフには、2階、3階にある「焼津おもちゃ美術館」のおもちゃ学芸員と、1階にある「やいづえほん」と（こども図書館）のえほんとサポーターがあります。
おもちゃ学芸員は来館者の皆さまへ、おもちゃの使い方や遊びを案内し、焼津の豊富な自然や文化も伝えていきます。えほんとサポーターは、絵本の紹介や読み聞かせをすることで、来館者の皆さまと絵本を繋げていきます。



えほんとサポーターによる読み聞かせの様子

活動条件を満たし、おもちゃ学芸員養成講座の受講を完了すれば、ボランティアスタッフとして登録することが出来ます。養成講座は年2回の開催で、ターントクルこども館のホームページから申し込みができます。

また、おもちゃ学芸員として登録した後、スキルアップ講座を受講すれば、電動糸鋸（いとのこ）を使った木工体験のサポートをすることもできます。



インタビューの様子
左から原崎議員、川島議員、おもちゃ学芸員・えほんとサポーターの皆さん

活動を始めたきっかけは？

市外や県外のおもちゃ美術館に自分の子や孫を連れて遊びに行ったことがあり、その時にボランティアのおもちゃ学芸員がいつも見守っていてくれたのがきっかけです。こういった施設が焼津にもあれば良いのにな、と思っていたら焼津にも出来るという話を聞き、子育てが大変な方たちのサポートが出来ればと思い参加しました。

活動をしていて感じたことは？

ターントクルこども館には市外や県外の方も多く訪れています。非常に良い施設だったのでまた来たいと言っていたことも多く、改めてこの施設の素晴らしさを実感しています。

来館される方は親子でいらっしゃる方が一番多いです。幼稚園ぐらいの年のお子さんだと直接話しかけても怖がってしまうので、そういった時はお母さんと話をするようにしています。お母さんが仲良くしている人だったら、一緒に遊んでみても大丈夫かなって思う子が多いと感じます。

他にも、お年寄りの方がいらっしゃることも多いです。おもちゃ美術館には、けん玉やコマ回しなどの昔の遊びやおもちゃがあり、性別を問わず、お年寄りの方でも熱中してしまうような体験をすることが出来ます。また、館内でゆっくり過ごしていただくのも良いかと思えます。少しの時間であつても、そういった時間を過ごしてい

ただけると、人生が豊かになるのかなと思います。



おもちゃで遊ぶ子どもとおもちゃ学芸員

行政や議会に期待することは？

市内のお年寄りや子どもなどがもっと気軽に来ていただけるような環境整備をしていただけると、この施設をよりたくさんの人に利用してもらえるきっかけになるのではないかと思います。

皆さんに知っておいてほしいことは？

私たちがボランティアとして楽しみながら活動をさせていただいている中で、ターントクルこども館を訪れるお客様にもこの楽しさを伝えていきたいと思っています。子育てをしている方にとって、子どもが小さい時期はその時しか無く、取り戻すことができないものだと思います。

そういった時期だからこそ、親子でスキップを図りながら「今」の時間を大切にいただくとともに、ぜひターントクルこども館を利用していただければと思います。



おもちゃ美術館で遊ぶ親子

インタビューに 答えてくれた皆さん

(表紙の右側の方から)

きたの よしひで
北野 嘉英さん
いけがや さちこ
池ヶ谷 幸子さん
いけがや かずえ
池谷 和恵さん
かとう やよい
加藤 弥生さん

開館時間や入館料などについては、ターントクルこども館HP（左記二次元コード）をご覧ください。



ターントクル
こども館

